

One step can move the future.
その一歩が、未来を動かす



万博会場で泉大津市の取り組みがアニメ化！

IZUMIOTSU TEAM EXPO 2025



泉大津市から“いのち輝く未来社会”を
先導するモデルケースを世界へ発信！

「官民連携・市民共創」の理念のもと、市民一人ひとりの能力・技量・才能を最大限発揮できるまち「アビリティタウン」を目指し、民間企業などが持つ先進的な技術やノウハウを活用した実証実験を市のフィールドで展開しています。泉大津市が創出した世界共通の社会課題解決や“いのち輝く未来社会”を実現する先導的なモデルケースを世界に発信しています。



泉大津市長
南出 賢一

健康な体づくりはあしゅびから!



メインキャラクター:ハルカ

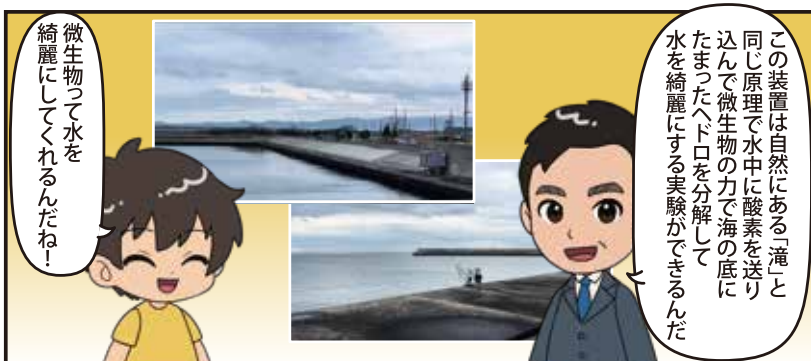
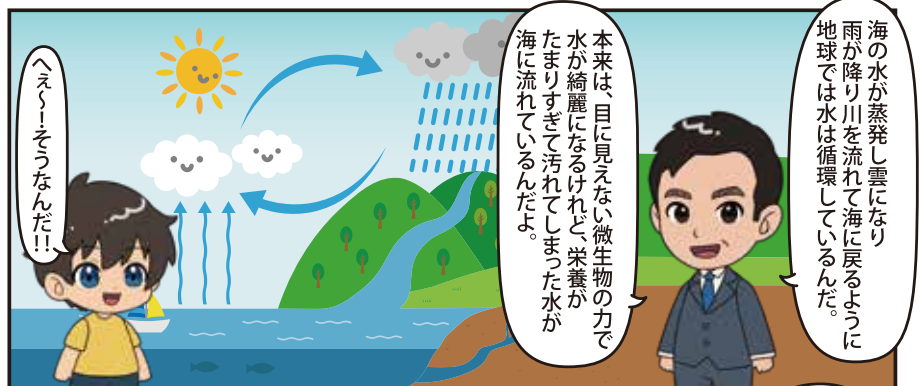
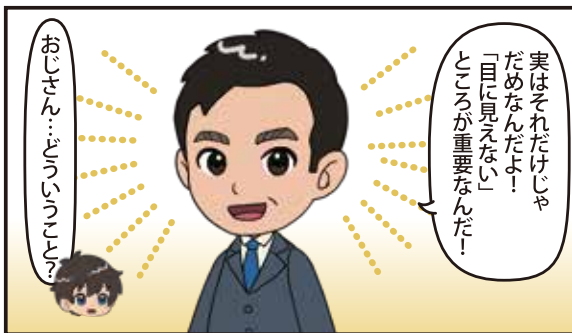
あしゅびプロジェクト



水質改善プロジェクト



メインキャラクター: ミナト

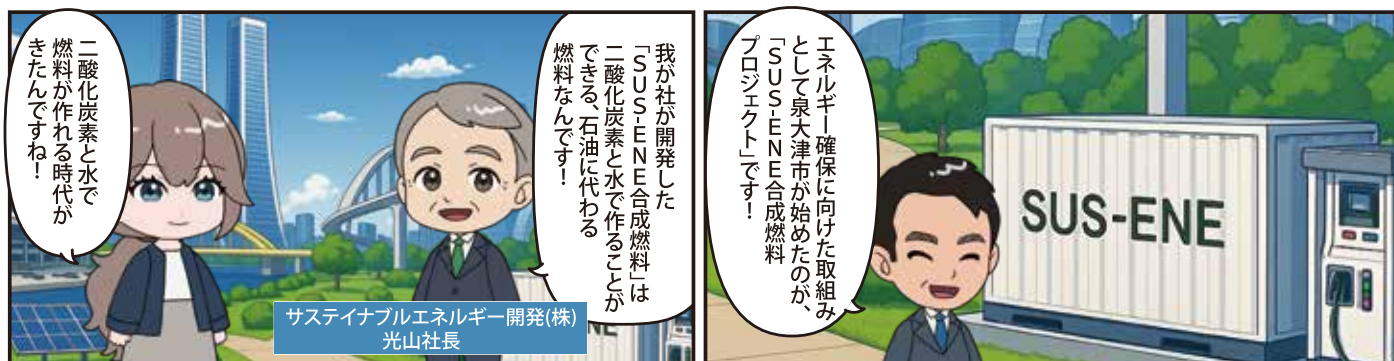
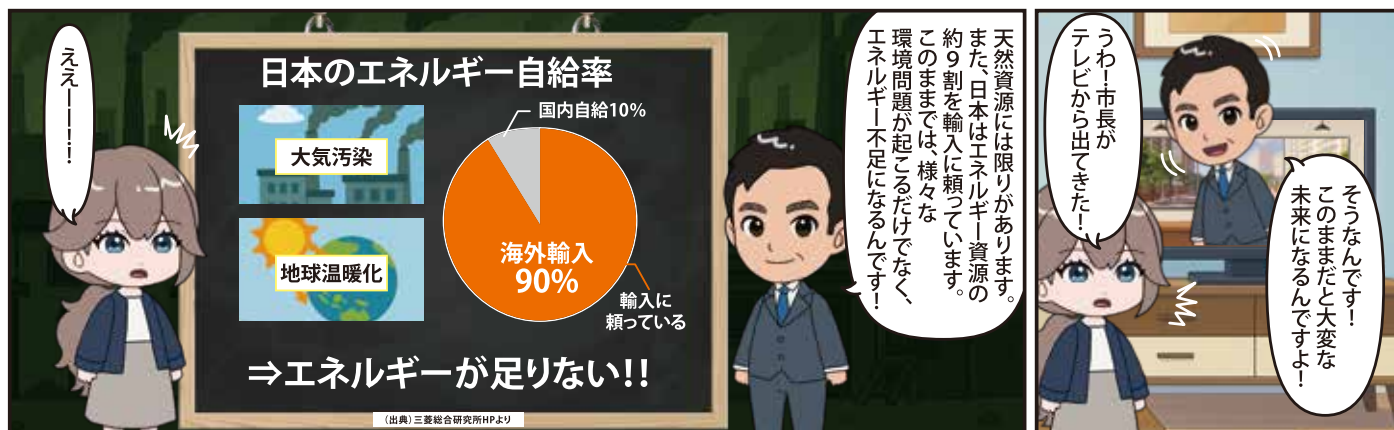


次世代エネルギーで未来の生活インフラを守る！

サスエネ

SUS-ENE合成燃料 普及促進プロジェクト

メインキャラクター：イズミ

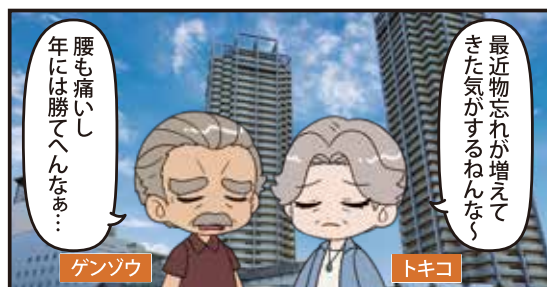
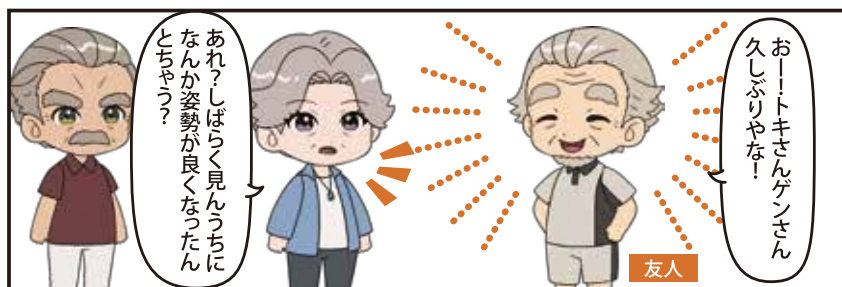


認知症は予防できる!? 誰もがいきいき過ごせるまちづくりを!

認知症予防・改善プロジェクト

メインキャラクター：トキコ

ゲンゾウ



都市型地域×農山村地域 農業連携プロジェクト



メインキャラクター: コウジ

日本の食料自給率

国内自給 30%
海外輸入 70%

輸入に頼っている

そんな未来を変えていくために泉大津市は「食」の新たなサプライチェーンモデル構築に取り組んでいるんです!

日本は食料自給率が低く、このままでは食料不足に陥ってしまうんです!

え、俺に話しかけてる!?

泉大津市・南出市長

このままだと大変な未来になるんですよ!

米も野菜も値上がりか...将来どうなるんだろう?

農作物 高騰中

コウジ

「食」のサプライチェーン改革
顔の見える関係性を構築

生産地 ← 連携 → 消費地

自治体間農業連携

- 農業収入の安定化
- 新たな担い手の確保
- 遊休地の活用
- 安定的な食糧の確保
- 食育の推進

泉大津市のような都市型地域には農地が少なく、市単独では市民全員の食糧を確保できないんです

一方農山村地域では、農家の高齢化や担い手不足などの課題があります

そこで始めたのが、「農業連携プロジェクト」です!生産地から農業の使用を抑えた体に良いお米を直接購入しています!

なるほど!生産地と消費地の課題解決が出来て健康にも繋がるプロジェクトなんですね!

このように全国に農業連携のネットワークが広がっています

香南市・濱田市長

高知県・香南市では、泉大津市との連携をきっかけに、初めて農業や化学肥料の使用を抑えた米づくりがスタートしました!

泉大津市との連携で、有機農業に取り組み人や、有機の農地面積が増えました!

旭川市・泉大津市
オーガニックビレッジ宣言式

旭川市・今津市長

北海道・旭川市とは、全国初の生産地・消費地共同でオーガニックビレッジ宣言を行っています

美味しいお米を食べることで日本の課題を解決できます!

東洋ライス(株)・雑賀社長

金芽米の特徴

金芽(胚芽の基連部)
胚芽の先端の黒くない部分を擇ぎ、基連部だけを残しました。
※金芽は全てのお米についているわけではありません。

亜糊粉層(うまみ層)
ヌカ層とデンプン層の境目にある層で栄養と旨み成分が多く含まれています。

イラストはイメージです。
実際の金芽米の色は白米と同じ色です。
※「金芽米」は東洋ライス株式会社の登録商標です。

作る人から食べる人まで、みんなが元気になるプロジェクトです!

生産者が大切に育てたお米は、東洋ライス社と連携し、玄米の栄養を残した「金芽米」に精米して、子どもたちや妊婦の方に提供しています